

【麻績村】 1人1台端末の利活用に係る計画

2025年3月

項目	内容	※留意事項
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	- ICTの先進的かつ効果的な活用と取組の普及等により、教育DXを一層推進することにより、「学習の基盤となる資質・能力」としての「情報活用能力」を育成する。 - 児童生徒一人ひとりの学習進度に合わせた指導体制の構築や授業改善を推進するとともに、多様な他者との対話・協働により、自らの問いの解決に向けて追求する探究的な学びをデジタルの力を活用しながら充実させる。	学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月）等の内容並びにこれらに引き続く政府の議論も踏まえ、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等を通じて実現を目指す学びの姿を記載する。
②GIGA第1期の総括	- 一人一台端末の整備を行った令和2年度に校内の通信環境整備も同時に行い、精通した教員の指導のもと、ICT教育の実践に取り組んだ。 - ただ、その中で通信のボトルネックの症状により、各学年のICT教育がフリーズすることが多々あった。 - そこで令和4年度に教育系の回線を小中ともに1回線ずつ増設し対応に当たった所、問題の解決につながった。 - その後、令和5年度の途中よりICT教育に係る学校支援として、学校訪問による支援を業者に委託し、定期的な支援・指導につなげている。	①も念頭に、令和5年度までの間にGIGAスクール構想の実現に向けて実施してきた端末と通信ネットワークの整備や、これらを活用した学びの実践のための取組等の総括を行い、その結果を記載するとともに、明らかになった課題については、その解決策とともに記載する。
③1人1台端末の利活用方策	【1人1台端末の活用】 第1期GIGAスクール構想で整備した端末の更新を定期的に行うことで、一人一台端末の環境の維持し、加えて端末の持ち帰りを継続することで、学習ツールの柱として日常的に授業で活用する。 【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】 今後さらにデジタル教科書を活用し、学習環境の充実を図るとともに、児童生徒の「個」を尊重するなかで、個別最適な学習環境を創出し一人ひとりに応じた学びの充実を図る。 【学びの保障（臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒）】 感染症流行時の臨時休業などの際に対するオンライン学習の実施や、不登校傾向や集団での学習が困難な児童生徒へのオンライン授業の実施を行うなど、全ての児童生徒への学びを保障する。	①及び②を踏まえ、端末の利活用方策を記載する。その際、1人1台端末の活用、個別最適・協働的な学びの一体的な充実、学びの保障の視点に触れて方策を記入する。 - 端末の利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することを明記する。